





審査結果報告書

2024年 1月26日

主査 氏名	田中浩和	
副査 氏名	田中克俊	
副査 氏名	村瀬華子	
副査 氏名	深瀬裕子	

1. 申請者氏名 : DM19014 佐藤 稔子

2. 論文テーマ :

治療開始前の乳がん患者に対する動画を用いた心理教育の有効性に関する検討

3. 論文審査結果 :

がん患者では、診断後より治療中、治療後まで抑うつ、不安といった心理的苦痛を感じるが、これらには「病気に対する不確かさ」の認知が影響するとされ、これらを軽減するためのさまざま心理的介入が注目されている。

申請者 佐藤稔子 君らは、新しい試みとして、治療開始前の乳癌患者にストレスマネジメントとリラクゼーション教育を動画で提示し、抑うつ、不安、不確かさに対する影響について、ランダム化対照試験を実施し、ベースライン、1ヵ月後、3ヵ月後で比較検討した。抑うつは介入群では1ヵ月後、3ヵ月後と有意に軽減したが、対照群では3ヵ月後に有意に増加し、不安は介入群では1ヵ月後、3ヵ月後と有意に軽減したが、対照群では有意な変化はなかった。不確かさは介入群では1ヵ月後、3ヵ月後と有意に減少したが、対照群では有意な変化はなかった。動画によるストレスマネジメントとリラクゼーション教育により、治療開始前の乳癌患者の抑うつ、不安、不確かさが軽減することが明らかとなった。

学位論文はしっかりした研究手法に立脚し、科学的に健全な結論を得ている。公開審査では、申請者は副査および主査からの批判的質問に適切に答えることができた。副査および主査は、学位論文の内容の高さ、質疑応答の的確さから、博士の学位にふさわしいと判断した。